



子どもと若者
のための
建築教育憲章
2019年版

INTERNATIONAL UNION OF ARCHITECTS

UIA子どもと若者のための建築教育憲章
UIA建築と子どもワークプログラム
2019年版
国際建築家連合 (UIA: International Union of Architects)

Co-signed by



ARCHITECTS' COUNCIL OF EUROPE
CONSEIL DES ARCHITECTES D'EUROPE

はじめに



私たちが生きている世界で、建物がつくり出す空間を学ぶことは、文化、社会、経済、政治を良くしていくためにとても大切ではないでしょうか。いろいろな人が一緒に暮らし、地球を大切にしながらものをつくり、みんなでものごとを決め、だれもが自由に生き、平和であるために、建物は人びとに大きな影響を及ぼすものです。

建物に関係する人や法律をつくる人と一緒に、世界中で建築の教育をスタートし、はげまし、広めるために努力することが、私たち建築家の責任です。

人びとが暮らす状況が目まぐるしく変わる世界の中で、だれもが安全で快適に暮らすには、建物がつくり出す空間の良し悪しが関わってくると、私たち建築家は固く信じています。建築家だけでなく、そこに住む人、さまざまな専門家、企業で働く人、法律を整える人などがみんな協力して、アイデアを考え、図面を描き、建物をつくっていくのです。

私たちが将来を豊かに暮らせるかは、あなたがた子どもや若者が、良い建物はどうやってつくり出されるかを理解できるかどうかにかかっているのではないのでしょうか。人びとが集まって暮らす場所が、新しい技術により快適であり、周囲の人たちと仲間意識をもち、自分の収入に見合った家に住め、安全安心に暮らせるようにするために必要な知識と方法を学ぶことが、とても大切なことです。



II. どうして建物を学ぶのか



1. 建物を学ぶ目的は、子どもや若者がだれに影響されることなく、自分一人で考えをまとめられるような正しい判断力を身につけることです。これは、すべての人にとって安全で整った社会を作り出すための助けになるでしょう。
2. 建物を学ぶことは、学校であっても別の場所であっても、子どもと若者の教育に必ず取り入れなければならない勉強ではないでしょうか。
3. おもな学びの場である学校のカリキュラムには、建物についての学びを必ず取り入れるべきだと考えています。学校で建物を学べれば、一緒に暮らす人たちみんなが良い建物や空間を理解することに影響を与えられるでしょう。
4. 建物は学ぶことがとてもたくさんあります。ちいさな子どもから大人に近くなるまでのあらゆる学年の学生に、はてしない知識や効果をもたらすことができると信じています。
5. 建物を学ぶと、ほかのさまざまな教科にも興味がわき始めます。そのため、ちがう分野の先生も協力して取り組めるとよいでしょう。
6. 良いか悪いかを考えること、空間をとらえること、なにかを想像してつくること、住んでいる場所のためになる行動をすること、身の回りの規則や慣習に沿うこと、周りの人と関わり合うこと、地球を考えることはすべて、これから学校で建物を学べば答えを出すことができるかもしれません。
7. 建物についての学びは、学校で習うほかの教科の知識を使いながら、同時にほかの教科のための学びにもなるでしょう。
8. 建物を考えるということは、多くのものごとをまとめ、どう見えるかをデザインし、予測できない将来を探ることです。そのため、建物の課題に取り組むことで、コミュニケーション力や問題を解く力、調査する力をつけることができ、ほかの教科の勉強にも応用できるでしょう。
9. 建物を学ぶことで、子どもや若者がこれらを得てほしいと願っています。
 - 9.1 いつもの場所でも違う場所でも、建物の中でも外でも、今自分がいる空間がどんなものかわかること。
 - 9.2 建物をつくることに対する役割や権利、責任がわかること。
 - 9.3 昔の人がつくった建物と、新しくできた建物の両方を知ること。
 - 9.4 建物がつくり出す空間と自然との関係を知り、私たちの暮らしを維持するために地球に与える影響を知ること。
 - 9.5 建物やまわりの場所がどうなっているか、それが私たちの暮らしにどう関係しているかを話し合うために必要な言葉を得ること。
 - 9.6 デザインをするときに必要になる情報の整理や、問題を解決する方法を経験すること。

II. どうして建物を学ぶのか



- 9.7 チームのみんなで力を合わせて考え、問題が何かを探し出し、解決する方法を見つけ出す力をつけること。
- 9.8 いろいろなやり方やかたち、材料を試すこと。
- 9.9 なにかを感じ取り、豊かに想像し、自分なりに表現し、良し悪しを見抜く力を働かせること。
- 9.10 建物についての研究と設計は、人の内面、文化、遺産、自然、人との関わり方をうまく考えるために知識を積み上げて行う作業であると知ること。
10. 建物の教育に関係する世界中の人びとは、みんなでつながりを持つことで、資料、映像、データベース、教育ツール、ウェブサイトなどを一緒に使えるようにして、いつまでも協力し合える仕組みをつくるべきではないでしょうか。
11. 建物の勉強と研究を人びとにすすめて、世界中に広まっていくことを願っています。そのためには、建物に関わる人たちが、教育する人や学校とともに、建物をより広く学べるように協力し合うべきなのです。
12. 子どもや若者がさまざまな方法で建物について学べるようにするには、国や省庁、政府や議会、メディア、教育関係者、研究者、学生とその家族、企業やさまざまなグループなど、建物に関係するすべての人びとの堅い協力関係が必要でしょう。



III. どうやって建物を学ぶのか



1. 子どもや若者が建物を学ぶための準備や実行に参加する建築家や教師などのすべての関係者は、国連の児童の権利に関する条約の原則と、児童の保護と安全のためのすべての法律、規約やガイドラインが常に守られるような方法をとるべきだと考えています。
2. 建物を学ぶことに関するすべての活動は、子どもと若者が暮らす地域に根付いた伝統的な生活習慣や考え方を大切にしなければならないでしょう。
3. 子どもと若者の建物についての学びは国や地方自治体が行うのが望ましく、建築家協会は学びを実現するために協力するべきではないでしょうか。
4. 学校で建物を学ぶときに建築家がいつも参加できるとは限りません。そのため、建築家と教育を行う人びとは、建物についての教育ができる教師を育て、教師が使える教材をつくるように力を尽くすべきでしょう。
5. 建物についての学びを行ったり考えたりする建築家は、教育に関心があり、子どもと若者と話し合っ、教師や親との協力を努力する必要があると考えています。
6. 建物について教える教師は、建物をしっかりと理解し、さまざまな分野との結びつきを正しく教えるために努力しなければならないでしょう。
7. 適切な学び方を考えるときには、建築家が集まる団体は教育や研究を行う人びとに協力して手助けをするべきでしょう。
8. 教師があらかじめ建物を学ぶときには、教師と建築家がお互いの得意分野で協力し合うことが欠かせないと考えています。そのためには、国や地方の政治を行う人や、大学などで研究する人、教師の学びを考える人など、たくさんの人が話し合って意見が一致することが必要となる場合もあります。
9. 建物の学びに関係する人びとは、ほかの分野と重なる学びを見つけたときは、その分野の教師と積極的に一緒に活動するべきだと考えられます。そうすることで言葉にしなくても、協力することの大切さを子どもと若者に教えられるのではないのでしょうか。
10. 教師や建築家が教えようとしていることは、時代の変化や多様な人びとの暮らしのあり方それぞれに沿えるものでなければいけないと考えています。ものをつくる意欲と良し悪しを判断する力を組み合わせて、未来の大人やそこに住む人のために新しい暮らしをつくることを目的とするべきなのです。

まとめ




本憲章は、UIA建築と子どもワークプログラムが中心となって、世界中の子どもと若者が建物を学びやすくし、支えるためにつくられました。

本憲章は、子どもと若者が建物を学ぶ仕組みをつくり出し、その実現を手助けする国、地方政府、関係機関の人びと、建築家、教師に学びの進め方とあり方を教えるものです。

本憲章は、世界中の子どもや若者が建物を学ぶ仕組みを、建築家や教育をする人たちが懸命に作るための土台となるものです。また本憲章は、みんなが使う建物を将来つくることになる子どもや若者に対して、いま建物と関係しているすべての大人が責任を負わなければいけないという共通の想いにもとづいています。





2019年版

2019年UIAにより承認済み

本憲章の2019年版は定期的に改訂され、世界の新たな課題やニーズや変革に対応し進化していく文書とする。
本憲章の執筆者は以下に記された、建築および建築教育分野の専門家および国際建築家連合(UIA)の建築と子どもワークプログラムのメンバーである。

- エヴァ・ストルジンスカ（フランス）：憲章の発案者、UIA建築と子どもワークプログラム・前ディレクター
- ミーア・ロス・セリーナ（クロアチア）：UIA建築と子どもワークプログラム・メンバー
- スザンヌ・ドゥ・ラバル（スウェーデン）：UIA建築と子どもワークプログラム・現共同ディレクター
- アン・マックニコル（アイルランド）：UIA建築と子どもワークプログラム・前ディレクター

UIA建築と子どもワークプログラム全メンバーの貢献に謝意を表す。

www.architectureandchildren-uia.com

【日本語版】

監修：建築と子ども勉強会

翻訳：株式会社フリーズクレーズ

2022年12月発行

INTERNATIONAL UNION OF ARCHITECTS/UIA
WWW.UIA-ARCHITECTES.ORG
UIA@UIA-ARCHITECTES.ORG

